

NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：講演会 「世界の子どもたち・NGO で働くということ」
2. 実施者：LCA 国際小学校
3. 日時：2016 年 9 月 21 日（水）9:20-10:55
4. 場所：LCA 国際小学校（神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-1）
5. 参加者：合計 244 名（小学 1~2 年生 97 名、3~6 年生 120 名、教員 27 名）
6. 実施報告：

NGO 相談員として、LCA 国際小学校で実施される「Job Fair」という子どもたちが外部講師を通して仕事について話を聞くイベントの一環として NGO の仕事や途上国の子どもたちの現状を紹介した。小学 1~2 年生と 3~6 年生対象にした 2 つの時間帯で、体験型を含めた講演会を行い、1 時間目の 9:20~10:05 までが 1~2 年生対象、10:10~10:55 の 2 時間目が 3~6 年生対象となった。内容としては途上国の子どもたちを取り巻く課題を紙芝居形式の写真やケースストーリーで紹介し、参加者と同世代の途上国の子どもたちが安全な水を手に入れることが大変であることや、家族が厳しい状況にあり栄養のある食事が十分にできないこと等を説明し、参加者の日常生活が当たり前ではないことを説明した。

また、参加者が主体的に学びを深められるよう体験コーナー（途上国で実際に使用している道具を使った水汲み等）を実施した。2 時間目の中・高学年対象の時間では、NGO で働くことについて活動内容などを簡単に紹介した。質疑応答では、途上国の子どもたちの暮らしについて、食べ物や住居、また、学校生活についての質問が寄せられた。

7. 所感：

途上国の子どもたちを取り巻く課題について体験学習を取り入れながら紹介することにより、小学生の子どもたちが世界の、特に子どもたちの課題に目を向け、国際協力へ理解を深める機会とすることができた。水汲み等の体験学習は途上国の子どもたちの課題に実感を持って理解を深めることができ効果的であると感じた。「Job Fair」というイベント実施を通して様々な職業を知る機会は小学生が将来の選択をしていく中で有意義な経験になると感じた。NGO の仕事もその中で紹介されたことは素晴らしいことであった。

8. 別添（写真）



紙芝居形式のケースストーリー紹介。水汲み体験。先生がタンクを頭に乘せてくださった